



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく（徳）
- かしこく（知）
- たくましく（体）

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和5年6月8日
第12号 文責 鈴木 博貴

南小の重点施策【特別活動の充実】『文部科学省指定・特別活動推進モデル校』

【令和5年度 南小学校・学校研究主題】『学級経営の充実～自己肯定感を育み、居心地のよい笑顔あふれる学級・学校づくりの実現に向けて～』

本校では教育重点施策として、特別活動にも力を入れています。特別活動とは、「学級で行われる学級活動（話し合い活動や体験を通じた実践的な活動）の他、異年齢で関わる児童会活動、クラブ活動、学校行事と豊かな学校生活には欠かせない4つの活動」です。特別活動を通して育成すべき資質・能力の視点としては、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つがあります。特別活動は集団活動の特長としており、全ての活動で子供たち同士が関わって活動が行われています。これらの活動を通して、本校で大切にしているよりよい人間関係づくりに向けたピアサポートを常に行っています。本校では、授業の充実として学級活動にも力を入れており、子供たち一人一人の意見を大切にしながら思いや願いが生かされるように合意形成を図っています。自分たちで決めたことを自分たちで実行することで、上記の育成すべき3つの資質・能力の育成に努めています。このような集団づくりの取組の充実は、「学力」とも大きな相関が見られており、本校の目に見える成果としても現れています。



【令和5年度 文部科学省指定】『特別活動実践事例映像資料作成協力校』

今年度本校は、特別活動の一つであるクラブ活動について文部科学省・国立教育政策研究所の指定を受け、映像資料の作成協力校となりました。教科書のない特別活動の充実に向けて、全国の約2万校ある小学校の中から7校がこの協力校となっており、「子供たちの生き生きとした活動について映像を通して全国の小学校へ発信することで、全国の特別活動の充実、子供たちのよりよい成長に向けた教師の指導力向上を目的」として発信する予定です。本校では、6月22日（木）に文部科学省の教科調査官をはじめ、複数の指導者が来校してクラブ活動の様子を撮影する予定です。ご理解ご協力をお願いいたします。



前述した「クラブ活動」とは、学習指導要領において、「主に第4学年以上が仲間と共通の興味・関心を追求する集団活動を計画・運営し、自主的に実践することを通して個性の伸長を図りながら上記の資質・能力の育成」を目指しています。南小では、「ダンス」「サッカー」「卓球」「球技」「室内ゲーム」「バドミントン」「手芸・調理」「科学」「パソコン」の9つのクラブがあり、クラブ活動のねらいに即して、クラブ長・副クラブ長を中心に子供たちが主体となって活動を行っています。活動内容の立案、計画はもちろん、準備から片付けまでを自分たちで分担しています。異年齢で相談し合ったり、協力し合ったりしながら関係を深めていく取組は、自己存在感、自己有用感を含めた「自己肯定感」を育むことにも繋がっています。



【心の朝会】『自分も大切 みんな大切』

これから、心の朝会を始めます。心の朝会は、皆さんの心が健やかに育つように考える朝会です。さて、SDGsという言葉は皆さんは知っていますか。テレビなどでも取り上げられることが増えたので、知っている人も多いと思います。SDGsは、17の目標を決めて「世界中の皆でそのゴールを目指していこう!」というものです。その目標の中には、実は皆さんにも取り組めるものがあります。それは「自分も大切に、皆も大切に」ということです。「大切に」とは、「相手に寄り添い、相手を受け入れる」ということです。皆さんの周りには、男の子や女の子、身長の高い人や低い人、髪の毛を結んでいる人や結んでない人がいると思います。これは「目に見える違い」なので、皆さんにもわかりやすいです。そのため、その人らしさを大切にできると思います。しかし、「目に見えない違い」はどうでしょうか。今日はこの「目に見えない違い」について考えていこうと思います。

「目に見えない違い」とは何か考えてみましょう。普段の生活の場面だと、友達と自分からお話ができる人や恥ずかしくてなかなかお話ができない人、自分の気持ちを素直に表せる人や自分の気持ちをなんて言えばわからない人。授業の場面だと、すぐに課題が終わる人や自分のペースでゆっくりと取り組む人、覚えることが得意な人もいれば、忘れっぽい人もいます。また、授業の中で、「わからない」とすぐに言うことができる人もいれば、なかなか「わからない」と人に言えない人もいます。皆さんにも周りの友達とは違う、「目に見えない違い」はありませんか。それでは今から2つのお話を見ます。登場人物はアオとキイです。2人の「目に見える違い」は为什么呢。また、「目に見えない違い」は为什么呢。考えながら見てみましょう。【動画視聴】

この世に生きていていい人など、誰もいません。いつでも一人一人の違いを認めて、すべての人が皆平等に「大切である」と考えることがとても重要です。南小学校では、『自分も大切 みんな大切』の言葉を合言葉に、自分のことを大切に、周りの人のことも大切にすることを育てていきましょう。自分とは違う、相手の好きなこと、気持ちを認め、「相手のいいところ探し」ができるといいと思います。たとえば、この子はいつもゆっくりだけど、しっかりと考えてやってるんだね、とか。相手のことを大切にしようという心が、自分の人権だけでなく、相手の人権を大切にすることになります。皆さんは、これからも自分も大切、皆を大切に、「やさしく かくく たくまく」、皆が居心地のいい南小学校にしてほしいと思います。これからの時代を心豊かに生き抜く皆さんを先生たちは応援しています。今日のお話を踏まえて、自分の周りの人のことを思い浮かべたり、クラスで話し合ってみたり、自主学习などにまわってみたりするといいと思います。これで心の朝会を終わりにします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【夢道場・南小『ほっとニュース』】

4年生・総合「『環境ってなに?』環境教育」

4年生は、総合的な学習の時間で『環境』について学んでいます。各自が、書籍やタブレット端末を活用しながら調べ学習を進めるとともに、全体で、坂戸市環境政策課の職員の方々に指導者にお迎えし、「ゴミの量の増加」「地球温暖化」「エネルギー問題」等、『地球の環境問題』をテーマに学習しました。地球規模の環境問題から身近な坂戸市が行っている環境対策を学び、「自分たちが環境を守るためにできることにはどんなことがあるか」を考えながら、真剣に授業に臨んでいました。



Think Globally, Act Locally. (地球規模で考え、足元から行動しよう)

南小学校では、各教科や生活科、総合的な学習の時間で、教科横断的・総合的に環境教育や福祉教育、人権教育、食育などの様々な教育活動を通して、世界の明るい未来の実現を目指す国連が掲げたSDGs(持続可能な開発目標)の学習を行っています。

【4年生全員が知っている! SDGs 環境問題クイズ!】

- ① 坂戸市が推奨している『4R』とは、リデュース(Reduce⇒買う量や使う量を少なくする)、リユース(Reuse⇒繰り返し何度も使う)、リサイクル(Recycle⇒資源として再利用する)の「3R」と、もう1つの「R」があるよ。それは何でしょうか?
- ② ペットボトル 1.5ℓ×5本の再利用(リサイクル)で、ポロシャツが何枚作れるかな?
- ③ ボトル1本の油を川に流したら、元のきれいな魚が住める川に戻すには、お風呂何杯分の水が必要かな?

6月は「環境月間」、環境問題について皆で考えてみよう!

【答え】 ①リフューズ(断る) ②1枚 ③11杯

【校長室より】『子供たちの未来のために』~SDGsを通して~

あるクラスの自習監督に入った。SDGsについて各自テーマを決め、書籍やタブレット端末を活用しながら黙々と個人新聞の作成に取り組んでいた。「貧困問題」も、SDGs17の目標の1つ。今も世界では、6人に1人の子供たちが貧困に苦しんでいる。書籍やインターネットから情報を得ることもいいが、自分が実際に見たり、体験したりしたことは心により深く刻まれる。集中して学習している彼らの妨げになってしまい申し訳なかったが、かつて自分が世界の国々を旅してまわり、そこで体験したことの数々を話す機会をもらった。全ての人が生活に必要な水や食料を与えられ、安全な生活と平等な教育を得られることの大切さ。「愛の反対は憎しみではなく無関心である」(マザー・テレサ)。